

JCHO金沢病院 院内フォーミュラリ

経口酸分泌抑制剤（PPI/P-CAB）

2025年10月作成（2025年11月薬事委員会承認）

推奨薬	ランソプラゾールOD錠15mg
	ラベプラゾールNa錠20mg
	エソメプラゾールCP20mg

条件推奨薬	タケキャブOD錠20mg
条件:重症/PPI抵抗性逆流性食道炎、H.pyloriの一次除菌	

《有効性・安全性》

- 日本消化器病学会「消化性潰瘍診療ガイドライン2020(改訂第3版)」など国内のガイドラインにおいて、タケキャブも含めた特定のPPIを推奨する記載はない。
- タケキャブによるGERDの長期維持療法は、国内で最大5年程度の使用において大きな安全性の問題は報告されておらず、有効性もPPIと同等または良好とされています。ただし、高ガストリン血症や腸管感染症などの懸念については、今後の検証が必要とされている。
- H.pylori感染の診断と治療のガイドライン2016改訂版において一次除菌治療では、その除菌率の高さからタケキャブの使用が推奨されている。（強い推奨）

《推奨理由》

- 有効性・安全性、各薬剤の特徴、当院における処方実績および薬価を考慮し、推奨薬をラベプラゾール、ランソプラゾール、エソメプラゾールとし、タケキャブは条件推奨薬とした。
- タケキャブはH.pylori感染の一次除菌に強く推奨されるが、長期使用での高ガストリン血症や腸管感染症の懸念が残るため、条件付き推奨薬とした。

《参考文献》

- 日本消化器病学会. 消化性潰瘍診療ガイドライン2020(改訂第3版)
- 日本消化器病学会. 胃食道逆流症(GERD)診療ガイドライン2021(改訂第3版)
- 日本ヘリコバクター学会ガイドライン作成委員会. H.pylori感染の診断と治療のガイドライン2016改訂版